

農協だより

2020. 4月

No.586

# たいき

青年部  
「真冬の感謝祭2020」  
2ページ～



農業塾2019  
「卒業式」  
4ページ～



女性部  
「第37回冬期運動会」  
3ページ～



酪農女性研修  
5ページ～

青年部

# 大樹町青年部真冬の感謝祭2020

―各団体(商工・漁協・役場・農協)合同イベント 生涯学習センターにて開催―

2月16日、大樹町青年部(商工会・漁組・役場・JA)による合同イベント「青年部真冬の感謝祭2020」を開催した。

今年度も町生涯学習センターにて開催し、スノーモービル体験などの会場イベントや各団体青年部による飲食ブースを準備。たくさんの子供達の来場で賑わった。

農協青年部は、部員6名が参加し、「ポップコーン」と「コーンポタージュ」を販売した。「しお」、「チーズ」、「醤油バ



ポップコーンの販売



大人気のビンゴゲーム

ター」の3種類を準備したポップコーンは、小学生とともに作付・収穫したものを使用。その場で調理して提供した。

会場イベントでは、スノーモービル体験の他、雪上宝探し、高所作業車への乗車体験、ビンゴゲーム大会などを行った。農協青年部はビンゴゲームを担当し、約30個の景品を用意。特賞のプレイステーション4を目的にたくさんの子供達が集まり、終始賑わいを見せていた。

今年度も町民の皆様への日



特賞の授与



会場のようす

女性部

# 地区スマイル交流会



会場は大盛り上がり♪

健康講座、歌や踊りなどアトラクションのおもてなしを受けた。久しい友人達との再会もあったようで、交流会を通して、参加者達の会話と笑顔がふれる会となった。



2月4日、ボランティアサークル「スマイル会」(高場君子会長)の、会員10名が大樹町福祉センターにおいて、「石坂・開進地区スマイル交流会」を行なった。地区の65歳以上を対象に、12名の参加者達は豚汁などの昼食や、町の保健師を呼んでの



参加者とスマイル会員

女性部

真冬の熱戦！  
65名が参加  
— 第37回冬期運動会 —

2月7日、J A会議室において、部員及びすずらん会会員と各関係機関65名が参加する中、第37回冬期運動会を開催した。

すずらん会を代表して高橋真衣さんと穀内美希さんが選手宣誓を行い、ラジオ体操で体をほぐした後、競技をスタートした。

今年の競技は、「令和最初の玉入れ」「トンネルを抜ける」と、「幼児競争」「デカパンパン競争」「楽農かるた」の5種目。ネーミングから競



令和最初の玉入れ



トンネルを抜けると…

技内容まで、参加者も見学者も楽しめるよう、役員でアイデアを出し合い決定。「トンネルを抜けると…」は、カロリンググストーンを投げてペットボトルを倒す競技。ペットボトルの大きさによって点数が違い、中間に立っている来賓の足の間をストーンが抜けると更にボーナスポイントが入る。力加減やコントロールが難しいが、ボーナスポイントが入ったことを知らせる鐘の音が何度も響き渡っていた。



デカパンパン競争



楽農かるた

また、「デカパンパン競争」は、2人ペアでデカパンを履き、1人はパンを口で取り、もう1人は風船を膨らませ割った後に次の人へデカパンを繋ぐリレー方式。風船がなか

なか割れず、苦戦するチームも多く、接戦が繰り広げられた。

参加者は、すずらん会からエルダーミセスまで部員同士協力し競い合い、好プレー珍プレーに一喜一憂しながら終始賑やかな雰囲気。真冬の運動会を楽しんだ。どの競技においても接戦を繰り広げた結果、ボーナス点の加点が大きいく幸いした萌和・芽武地区の「ハマナスチーム」が優勝を果たした。

生活健康講座

冬期運動会終了後の生活健康講座では、ハピネス代表の



生活健康講座の様子

ホシナサオリ氏を講師に招き、「カンタン！ストレッチ講座」をテーマに開催した。講座では、運動会の疲れを癒やすストレッチや、シェイプアップを目的とした内容を享受された。

ストレッチは一気に行なうと辛いので、自分のペースで気になる体の部位を毎日1セットや毎日1分行なうようにする意識を持つと継続できるとのアドバイスがあった。

また、年齢を重ねるうえでの健康について、ストレッチで行なう体力作りの重要性を説き、参加者は今後役立てようと真剣な様子で聞き入っていた。



背中を伸ばしてリラックス

第7回

# 農業塾2019

## 「卒業式」と「海外視察研修報告会と

## 次期へ向けての意見交換」



挨拶する  
森下周平さん

2月19日、JA大樹町において、11名の受講生が出席の下、第7回農業塾を行った。

午前の部で行った「卒業式」

では受講表彰と受講終了証書の贈呈を行い、皆勤賞に山下陽子さん、森田真人さんを表彰。精勤賞に山下雄也さん、太田尚宏さん、半谷勇人さんを表彰した。受講終了証書の贈呈では、塾生



表彰を受ける塾生



記念品の贈呈



海外視察研修報告会



意見交換の様子

全員に証書と記念品を贈呈した。

坂井塾長からは「3年間の農業塾では、技術の習得、仲間づくり、農協を知っていただくことができたと思います。これからは農協に意見いただき、共に成長していきたい」と挨拶。その後はスライドショーを使い3年間の農業塾を振り返った。

塾生代表挨拶では森下周平さんが「農業塾では農協職員や関係機関、同世代の仲間と知り合うことができた。周りの仲間と協力しながら課題を解決し、経営者として成長していきたい」と挨拶した。

午後の部では、「海外視察研修報告会と次期へ向けての意見交換」を行った。

海外視察研修報告会では、参加した塾生が2人1組となり、ニューヨークランド8日間の研修視察を担当視察先ごとに報告した。

次期へ向けての意見交換では、「誰が何を学ぶための農業塾なのか」、「農業塾に参加するメリット」、「次期農業塾を思い描いた全体像」の3テーマを設定し、意見交換を行った。次期農業塾については、意見交換した内容も参考に新たに企画していく予定。

最後に太田副塾長が「次期農業塾に向けては、要望に応え自身の濃いものになりたい。3年間お疲れ様でした」と挨拶し終了した。海外視察研修の内容については、近く農協だよりでも報告予定。

# 冬のインターンシップ開催

道内各地から大学生参加

JAでは、2月21日にインターンシップを行ない、大学生3年生2名が参加した。

午前中は学生が設定した目標の確認後、飼料設計や広報誌作成業務など、各々興味のある分野で職業体験を行った。

飼料設計では、酪農振興課の職員と同行し牛の健康状態や餌の食い込み具合、乳検データ等について説明を受け、仕組みなどを現地で学んだ。



職員から説明を受ける学生

広報誌作成では、企画管理課の職員と一緒に作成に必要な写真撮影を現地でできない、それを用いて広報誌を作成していく手順を学び、どのようにしたら多くの人に農業を伝えられるのかなど広報誌作成業務に必要な作業等を体験した。

また、昼食後は生産資材課店舗や農産販売課の加工工場倉庫等のJA施設見学や、意見交換を行なった。



資材店舗を見学する様子

## 酪農女性研修

2月25日、JA会議室において、JA大樹町・雪印メグミルク㈱大樹工場・大樹町酪農部会の共催により第38回酪農女性研修が開催され、酪農女性42名、関係機関16名が参加した。

当日は、土幌町の酪農家遠藤裕子氏を講師に招き、「牛にも人にもやさしい育成牛」をテーマに講演が行われた。女性ならではの目線で、施設の設計や飼養管理、家族や従業員のやる気を引き出す方法について話があった。

研修会終了後には懇親会が行われ、抽選会やじゃんけん大会等で親睦を深めた。



## 酪農部会研修会

1月28日、JA会議室において、酪農部会員・関係機関合わせて17名が参加する中、研修会を行った。

研修会ではフォス・ジャパン株式会社の近藤弘幸氏から「体細胞種別判定情報の活用による乳房炎スクリーニング検査の紹介」をテーマに、生乳の見える化や検査結果を用いた乳房炎対策についての講演があった。

また、ホクレン帯広支所職員からは「軽減税率制度導入に伴う精算書の変更ポイントについて」をテーマに、生乳代金精算書の共販経費控除についてなど変更点について説明があった。



## 退職に当たって

早春の候、組合員、役職員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私事ではございますが、令和2年2月29日をもちまして、大樹町農業協同組合を退職することとなりました。

入組して6年11ヶ月、公私共にお世話になり至らない私が大過なく過ごすことが出来ましたのは、皆様の温かいご指導とご厚情によるものと深く感謝致します。

多くのことを学び、経験させて頂きました。今後は業務を通じて培った経験を活かし、これからの人生を歩んでいきたいと思います。

最後になりますが、組合員及び役職員の皆様のご健康と、大樹町農業協同組合の益々のご発展を祈念申し上げ、退職のご挨拶とさせて頂きます。

本当にありがとうございました。



## 内定者研修会

2月10日、JA大樹町大会議室で令和2年採用職員内定者研修会を行なった。

当日は内定者5名が出席。

挨拶終了後はJA大樹町で働くために、規程や概要を勉強。給与体系や服務にあたっての約束を学んだ。

昼食後はパソコンを使い、エクセルやワードを使った文書作成を勉強。使い方のほか、事務作業を行なう際の検証の重要性を学んだ。

全ての研修が終わった後は制服用のサイズ合わせを行い、内定者達は4月からの奉職に胸を膨らませていた。



## 健康情報 ～JA 北海道厚生連 帯広厚生病院発～

### 特集 高血圧

#### 高血圧とは

収縮期血圧が 140 mm Hg 以上、あるいは拡張期血圧が 90 mm Hg 以上を高血圧といいます。どちらか一方でも超えれば高血圧です。血圧が高いということは、血管の壁に内側からかかる圧力が通常より大きく、血管に常にストレスのかかった状態をいいます。このことが多くの臓器障害の原因となります。



#### 高血圧の合併症

血圧が高いと何が問題なのでしょうか？  
血圧が高いと血管に負荷がかかります。この状態が長期に及ぶと血管が硬くなりますが、これを動脈硬化といいます。血管はすべての重要臓器に存在します。そのため血圧が高いと全身のさまざまな臓器障害を引き起こします。特に重要なのが、脳（脳出血、脳梗塞）、心臓（心筋梗塞、狭心症）、腎臓（腎不全）といった命にかかわる部位です。

1) 脳に生じる合併症  
・脳梗塞 / 脳出血 / くも膜下出血

2) 心臓に生じる合併症  
・狭心症 / 心筋梗塞 / 心肥大 / 心不全

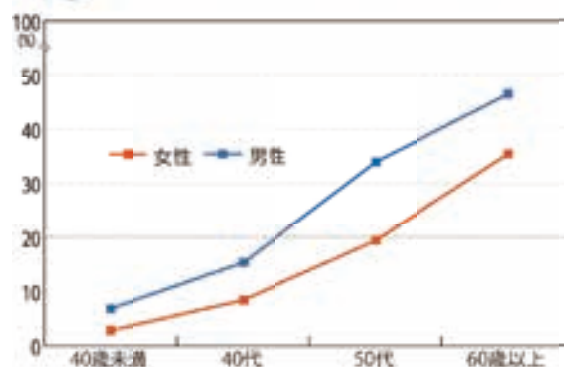
3) 腎臓に生じる合併症  
・蛋白尿 / 慢性腎臓病 / 腎不全

4) その他  
・眼底出血 / 網膜静脈閉塞症  
・大動脈解離 / 大動脈瘤  
・アテロ硬化症

#### 高血圧の頻度

現在日本における高血圧の患者数は推定で 4,300 万人いるといわれています。そのうち治療を受けている方は 60 歳代で 50% 以上、70 歳代で 60% 以上です。図 1 のグラフは当院健診センターにおける 2015 年のデータです。高齢になるほど高血圧の頻度が増加していることがわかります。

図 1 当院健診センターにおける血圧高値の割合



#### 人間ドックのすすめ

食生活の欧米化や運動不足により、高血圧、糖尿病、心臓病、がん、脳卒中などの生活習慣病が増加しています。人間ドックを受診することでご自身の健康状態を確認し、病気の予防、早期発見に役立てることができます。

人間ドックのご相談、個人でのご予約は：帯広厚生病院 健康推進課にお電話ください  
電話 0155-65-0133（予約専用） 受付時間 平日 8：30～17：00  
団体に申し込まれる方：職場の健診担当者にお申し込みください



JA 北海道厚生連帯広厚生病院  
〒080-0024  
北海道帯広市西 1 4 条南 1 0 丁目 1 番地

 **JAグループ通信****JA北海道中央会**

J Aグループ北海道は北海道コンサドーレ札幌の選手やサポーターに、農業と食について考えてもらうことを目的として、「コンサ・土・農園（コンサ・ド・ファーム）」を開園しています。収穫した「トウモロコシ」や「馬鈴しょ」はコンサドーレのホームゲーム時にチャリティー販売を行い、その収益によりサッカーボールを購入し、道内の児童養護施設に寄贈しています。

今年度の募金額は174,916円となり、道内24か所の児童養護施設に48個のサッカーボールを贈呈することができました。この取り組みは平成21年より実施しており、サッカーボールの累計贈呈数は今年度で約500個となっております。

1月30日に道内の児童養護施設を代表して札幌市内の養護園で贈呈式を行い、J Aグループ北海道より、J A北海道中央会の飛田会長、北海道コンサドーレ札幌より河合C. R. Cとドーレくんがサッカーボールを贈呈しました。

**JA北海道信連**

1月22日、旭川市内で「J Aバンク北海道農業経営セミナー」を開催しました。北海道農業の未来に向けた農業経営者の「経営力向上」をテーマに講演が行われ、全道各地の農業経営者などが参加されました。講演では、農福連携・農福一体の取り組みや、地域ぐるみのブランド戦略等の事例について各講演者から説明がありました。講演後、交流会も催し、農業経営者間の情報交換及び連携強化を図りました。

**JA共済連北海道**

J A共済では、『「こども共済」資料請求キャンペーン』を実施しております。J A共済ホームページから「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『J A共済オリジナル アンパンマンはらまき』をプレゼントしております。キャンペーンは令和2年3月27日(金)までで、先着60,000名様限定となっております。この機会にJ A共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！  
○J A共済HPアドレス  
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>

**ホクレン**

冬至シーズンの道産かぼちゃ供給に向けてホクレンが商品化した銘柄「りょうおもい」を使った煮付けとあんこを組み合わせた総菜「冬至かぼちゃ」をセイコーマートが新規開発し、昨年12月に道内と茨城県に展開する全店で冬至前後の期間限定での試験販売をしました。「りょうおもい」は、ホクレンが品種選定、貯蔵技術の研究を進め、生産者・消費者双方の「思い」として命名し、ホクホク感と甘味のバランスのとれた、おいしいかぼちゃです。

**JA北海道厚生連**

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



J Aグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介しします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



# 十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

今日から始める農場のチェックリスト No.9

## 乳牛個体間での病原体拡散防止のための管理点検

牛同士のなめ合い、糞と接触することにより病原体は牛から牛へ感染していきます。牛を感染症から守るには「病原体を牛の飼養環境で増やさないこと」と「牛を病原体に触れさせないこと」が必要です。

農場の現在の管理を点検して、対策ができているか○×で確認してみましょう。

### ○チェックリスト

No.	チェック項目	判定	解 説
1	牛床は清掃され、乾燥している		×判定がつく場合、牛が触れうる場所や環境に「病原体の巣」ができる可能性があります。 牛床だけでなく、畜舎の壁面、仕切り柵、ません棒などに糞が付着していないことも大切です。
2	敷料は定期的に交換し、十分にある		
3	畜舎の消毒・石灰塗布を定期的に行っている		
4	牛体は汚れを常に確認しており、「よろい」等の汚れがない		環境悪化、病原体感染を早期発見するには、牛をこまめに観察することが最も効果的です。
5	病原体感染牛の早期発見と隔離、淘汰を実施している		
6	飼槽、飼槽通路に泥等の汚れがない		多くの伝染病は経口感染します。 エサやミルクへの病原体の混入を防止するために、直接、口をつける飼槽、水槽は常に衛生的に保つ必要があります。
7	水槽・ウォーターカップは衛生的に管理している		
8	ほ乳器具は乾燥、またはアルカリ洗剤液につけ置きして保管している		
9	分娩スペースが群飼いではない。または、分娩後に子牛をすぐ成牛から離している		子牛やストレスにより抵抗力が弱っている産褥牛が、他の牛に付着した病原体に触れる危険があります。
10	子牛はカーフハッチで飼い、健康状態を確認してから群飼いに移行している		

### ○ほ乳器具の洗浄方法

ほ乳器具はミルクカーと同じ手順で洗浄しましょう。

- ①ぬるま湯ですすぎ
- ②アルカリ性洗剤でブラシ洗い（乳脂肪、タンパクを除去）
- ③ぬるま湯ですすぎ
- ④3日に1度は酸性洗剤でブラシ洗い（乳石などを除去）
- ⑤ぬるま湯ですすぎ
- ⑥乾燥させて保管する
- ⑦使う前には殺菌剤ですすぎ



※乳首は洗った後は30分程度殺菌液につけ置くことをおすすめします。  
乳首は消耗品です。定期的に変えてください！



知って納得！ 税金講座

JA全中・JAまちづくり情報センター 顧問税理士・柴原 一

## 贈与税の配偶者控除と特別受益

贈与税の配偶者控除とは、配偶者から居住用の不動産またはその取得のための金銭の贈与を受け、婚姻期間が20年以上であることなどの要件を満たした場合、その贈与金額から2000万円を控除して税額を計算するという特例です。つまり、この特例を適用すると基礎控除110万円を合わせた2110万円まで贈与税がかからずに財産を配偶者に移すことができます。

ところで、相続分を計算する場合、特別受益といい生前に被相続人から贈与等を受けた財産で「結婚や養子縁組の際に受け取ったもの」「生計の資本としてのもの（住宅やその購入資金など相続分の前渡しといえるようなある程度高価な財産）」があるときは、その特別受益額を相続財産に加算するとともに、特別受益を受けた相続人の相続分から特別受益額を控除しま



す。例えば、相続人が妻、長男の2人、相続財産1億円であるとし、妻に妻が4000万円の生前贈与（特別受益に該当）を受けていた場合、長男の相続分は7000万円（＝1億4000万円×1/2）、妻の相続分は3000万円（＝1億4000万円×1/2－4000万円）になります。

なお、一昨民法が改正され、2019年7月1日以降に婚姻期間が20年以上の配偶者間で居住用不動産の贈与等が行われた場合、この贈与等については特別受益に該当しないことになりました。前述の例で4000万円が居住用不動産であり特別受益に該当しないものとする、妻の相続分は5000万円（＝1億4000万円×1/2）になります。この民法改正により「贈与税の配偶者控除の特例」を適用して、配偶者に不動産を移す事例が多くなることが見込まれます。ただし、贈与税の配偶者控除は居住用不動産を取得するための金銭も対象になりますが、民法の特別受益からの除外については取得のための金銭は対象にならないなど、両者の要件は若干異なっていますので注意してください。

## 理事会の動き

## 第13回 2/27

## ★報告事項

1 平成31年度JA黒毛和種採卵事業並びに受精卵流通産子支援事業の実施結果について

2 JA黒毛和種採卵事業要領並びに受精卵産子流通支援事業要領の一部改正について

3 十勝酪農畜産対策協議会第5回全体委員会について

4 資金の貸付について

5 内部監査の結果について

6 組合員の異動について

7 特別審議委員会の答申について

8 債権償却について

9 職員の退職について

## ★付議事項

第1号 理事に対する資金の貸付について

第2号 理事に対する組合員勘

定取引について

協議・承認

第3号 令和2年度内部監査計画について

協議・承認

第4号 令和2年度経営定期点検実施計画の策定について

協議・承認

第5号 固定資産の取得について

協議・承認

第6号 株式会社大樹貨物への増資について

協議・承認

第7号 農業後継者海外農業研修費の助成と後継者育成積立金の取崩しについて

協議・承認

第8号 学識経験役員及び員外監事の推薦について

協議・承認

第9号 年度末賞与の支給について

協議・承認

第10号 対策指導農家等の令和2年営農計画に認定について

協議・承認

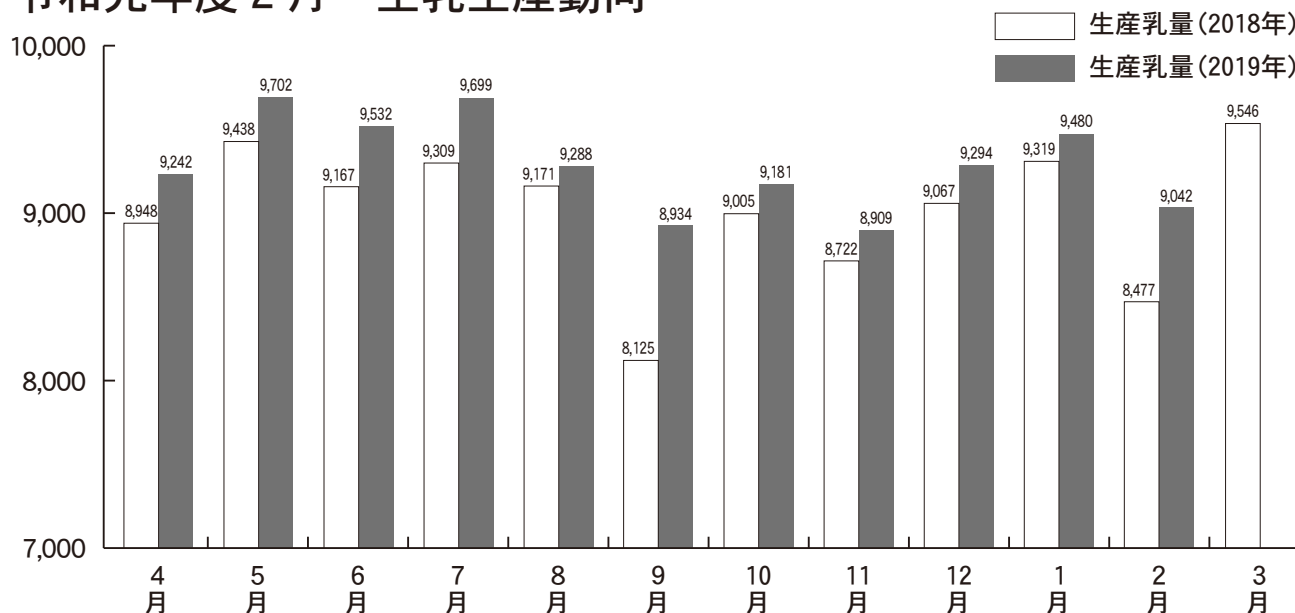
第11号 信用限度額を超える組合員勘定取引について

協議・承認

第12号 令和2年対策指導農家等の支援体制（案）について

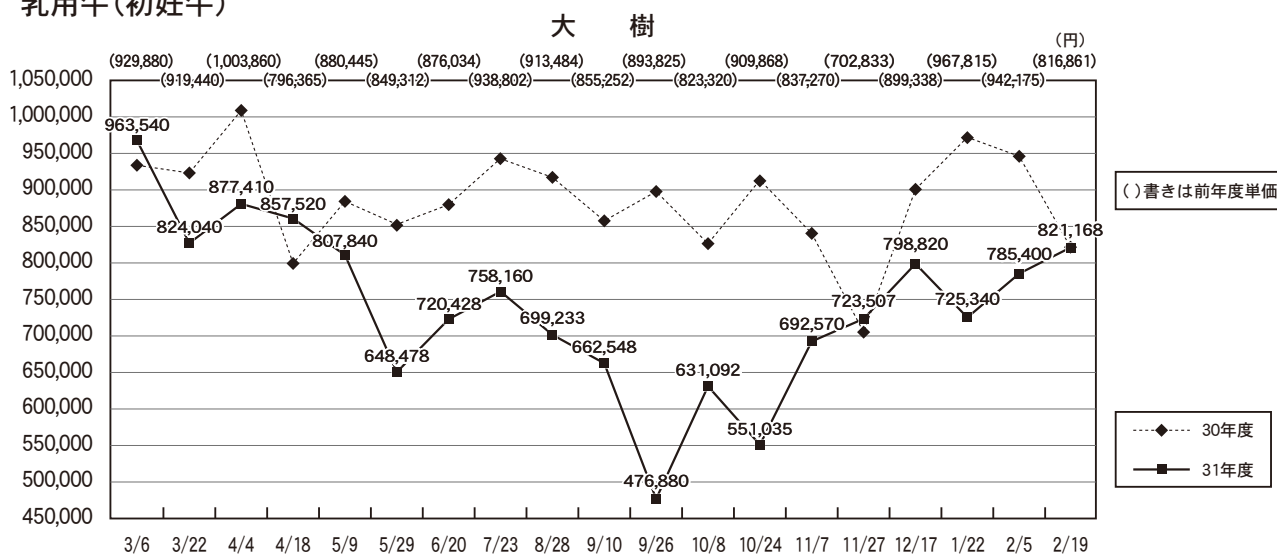
協議・承認

## 令和元年度 2 月 生乳生産動向

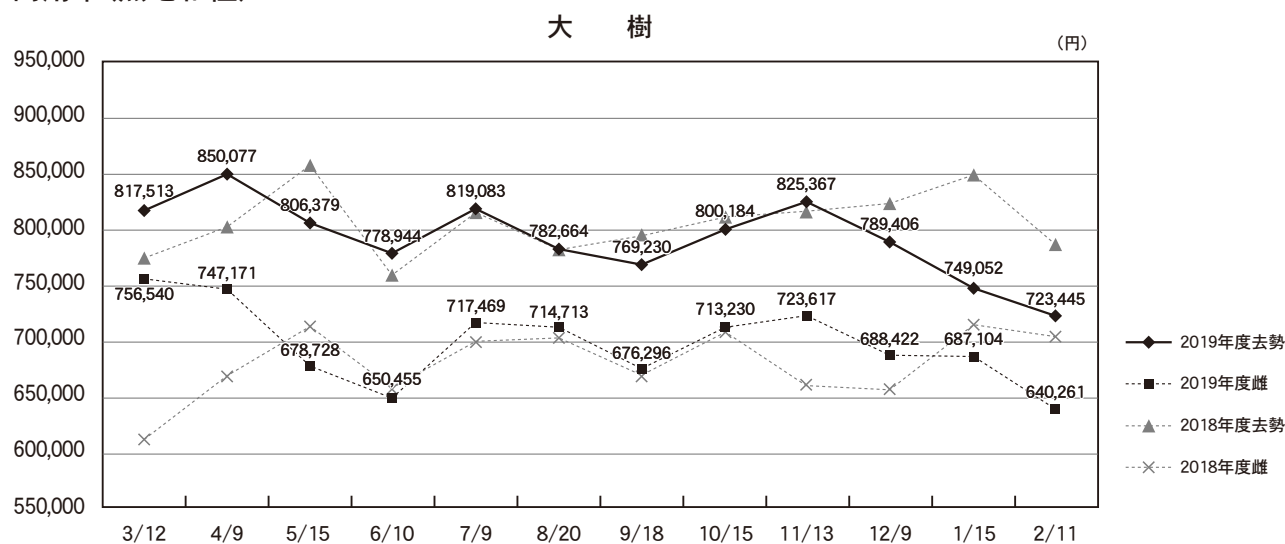


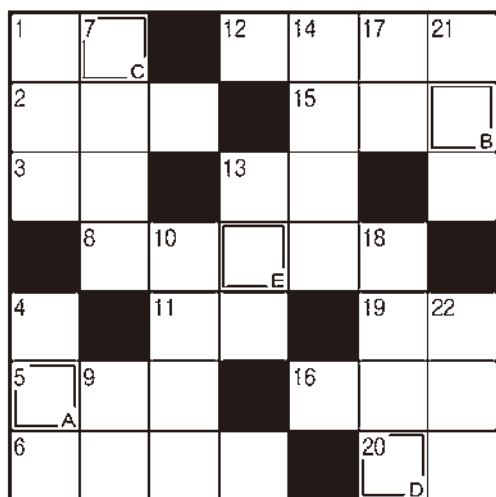
## 家畜市場の成績

### 乳用牛(初妊牛)



### 肉用牛(黒毛和種)





- タテのカギ
- ① ビニール——の中で作物を育てた
- ④ ピツ、ピツ、ピツ、ポーン
- ⑦ 口紅を片仮名言葉でいうと
- ⑨ メロンやズッキーニもこの仲間
- ⑩ ハワイの代表的なビーチリゾート。  
ダイヤモンドヘッドが見えます
- ⑬ 視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこ  
と
- ⑭ 臭いため嫌われやすい昆虫
- ⑰ 国語、数学、——、社会
- ⑱ ウナギの内臓を使って作る汁物

## 頭の体操

## クロスワードパズル

正解者10名に大樹TMOカードが当たる

- ② 菜の花の咲く頃に降る——梅雨
- ② 土俵の上で戦います

## ヨコのカギ

- ① 冬が終わるとやってくる
- ② 羊やアルパカの毛のこと
- ③ スナップエンドウの下処理の際に取る物

- ⑤ 掃き掃除をするときに使います
- ⑥ 欲しかった商品が——になっちゃった……残念
- ⑧ 瞬間——の蛇口から熱湯をくんだ

- ⑪ 契約書や伝票に押します
- ⑫ ハトの形をした笛
- ⑬ 輪——、消し——、——手袋

- ⑮ 物の重さのこと
- ⑯ 選挙の立候補者が肩から掛けます
- ⑰ 木がたくさん生い茂っている所
- ⑳ 患者を診察する人



## 3月号の答え

A B C D E F  
ジンチヨウゲ  
でした。

## 当選おめでとうございます

## 当 選 者

(鏡町)	(萌和)	(下大樹)	(東和)	(上大樹)	(豊里)	(豊里)	(尾田)	(尾田)	(拓進)
今村佳子さん	米谷裕美子さん	三木優花さん	高場君子さん	坂本松太郎さん	佐藤勉さん	藤内隆弘さん	細谷絢子さん	姉崎美紀さん	鈴木初花さん

- 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。  
次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。
- 締切り Ⅱ 4月10日(当日消印まで有効)
- 届出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。
- とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。
- 賞品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)
- 職員とその家族の方はご遠慮下さい。
- 3月号の応募者は12名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。
- 当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

# 未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修=JCA(日本協同組合連済機構)

## SDGsとは

近年、SDGs(エスディーゼーズ)という言葉が世界中で注目を集めています。SDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称で、2015年に国連で採択された国際社会の共通目標です。貧困や飢饉、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

協同組合はこれまでも貧困や飢饉などの問題に取り組んできたことから、国連によりSDGsを達成するための重要な組織として位置づけられています。JAグループは第28回JA全国大会で、自らの事業・活動がSDGsの達成に貢献するものであることをふまえて、JAグループの取り組みの成果を広く発信することを決めました。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。



## 全国のJAや生協など協同組合が取り組む主な実践例

- 2 飢饉をゼロに 国内における農林漁業の振興と食料の安定供給、こども食堂・フードバンクの運営、移動購買
- 3 すべての人に健康と福祉を へき地医療の提供、高齢者・障がい者等のケア事業、介護予防活動、子育て関連事業
- 11 住み続けられるまちづくりを 移動購買の実施、助け合い活動、災害救助活動
- 12 つくる責任つかう責任 食の安全確保と情報提供
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう 国内外における協同組合間の連携

...など

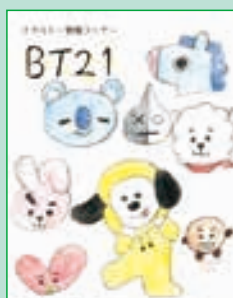
JCA監修「1時間でよくわかる SDGsと協同組合」をもとに作成



耕そう、大地と地域のみらい。

## イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。  
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



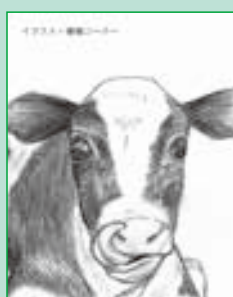
拓進  
鈴木 初花ちゃん (12歳)



水野 梨花ちゃん (8歳)



下大樹  
みき ひなちゃん (4歳)



尾田  
牛乳いっばいのもうさん (?歳)



鏡町  
けーこばあばさん (?歳)